

被災者支援のための支え合い・交流の場づくり(サロン活動)について

今回のプログラムでは、コミュニティ支援の一環として、能登半島地震における被災地域での住民の支え合い・交流の場づくり(サロン活動)等に取り組みます。

■被災地域での支え合い・交流の場づくり(サロン活動)

能登半島地震では数多くの家屋が倒壊し、住民が一時的に避難をするなどして、これまで行われていたコミュニティでの寄り合いなどができなくなりました。地域での情報交換の場や支えあいの場が失われているという現状を現地関係者からお聞きしています。そこで、今回の支援活動では、地域での支え合い・交流の場づくりとしてのサロン活動を実施します。人が集まって、互いに支えあったり、励まし合ったりする場づくりを大切にしていきたいと考えています。

また、この場づくり(サロン活動)は、被災地域内の住民の方々にもお手伝いいただきながら運営を進めていきたいと考えています。活動が終了する際には、住民の皆さんの手で運営できるような形を目指していきます。



■活動のイメージ

写真は過去の被災地域での支援活動のイメージ写真です。地域の人たちが集まって様々なお話をします。物資支援や演奏などとセットで行うこともあります。また、外でテントを立てて行う場合もあります。

■被災者へのサロンのご案内

住民の方々にサロン活動の案内をするために地域を歩いてポスティングを行います。

■調理

コーヒーやお茶などに加え、ホットケーキ等の軽食を用意する予定です。

